

安全な器材を提供するために取り組んでいること

滅菌材料部

滅菌材料部とは



使用した器材は まず洗浄をします



手術や処置などに使用した器材を
洗浄し滅菌する部署です。

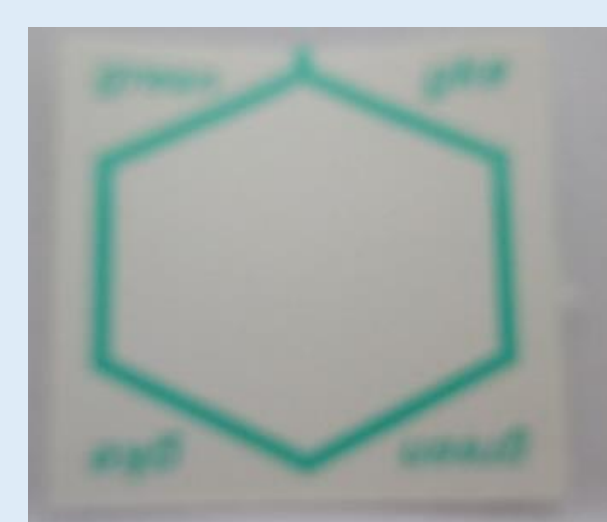


- ・器材は素材・形状・耐熱温度がそれぞれ違います。
洗剤(アルカリ性・中性酵素)・温度(90℃・80℃・50℃)・潤滑剤(有・無)
など器材に適したプログラムを選んで洗浄します。
- ・毎回インジケータを使い、きちんと洗浄できたかどうか確認しています。



洗浄前

緑の塗料が落ちれば合格

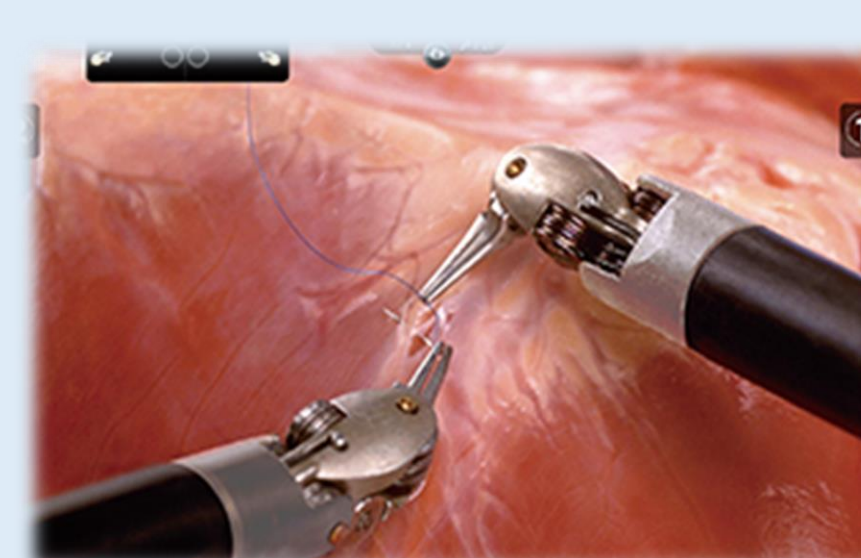


洗浄後

- ・腹腔鏡手術やロボット支援手術(ダ・ヴィンチ手術)などが増え、
器材も複雑なため、ダ・ヴィンチ手術で使用する器材が洗浄できているか、
第三者評価をしています。



ダ・ヴィンチ手術(イメージ)



ダ・ヴィンチ器材



第三者報告書 重要！

洗浄後、器材の点検と 組み立てをします



- ・拡大鏡を使用し細かい亀裂の有無・変形などの劣化がないことを確認します。
- ・ハサミの切れ味もチェックしています。
切れないハサミは危険です！

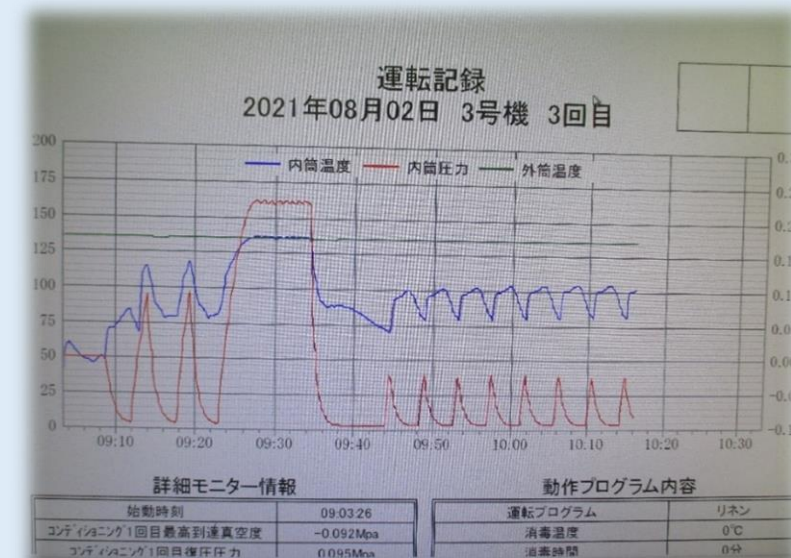


いよいよ滅菌です



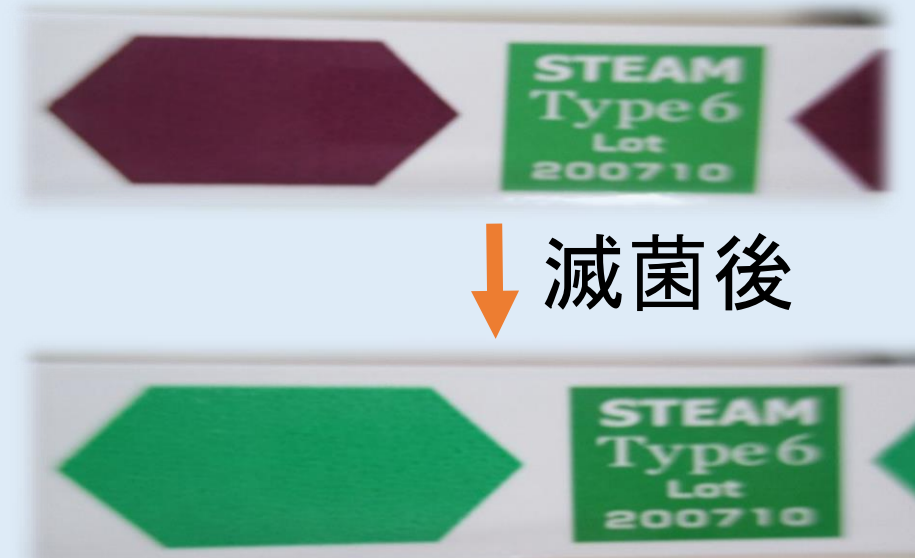
- ・4つの滅菌方法: 高圧蒸気滅菌・過酸化水素ガスプラズマ滅菌・
過酸化水素ガス滅菌・酸化エチレンガス滅菌から適切な方法を選びます。
- ・確実に滅菌できたかどうか**3点**を確認します。
1つでも不合格なら再滅菌します。(例: 高圧蒸気滅菌の場合)

① 滅菌装置記録紙



滅菌装置から出力された波形をみて、
設定温度(135℃)に達したか、
設定時間(8分)維持できたかを
確認します。

② 化学的インジケータ



135℃、8分蒸気にあたると黄緑色
に変わります。
滅菌装置を通過した証拠となります。

③ 生物学的インジケータ



滅菌後培養器に入れる



この中に生きた菌が入って
います。
器材と一緒に毎回
滅菌装置に入れ滅菌します。

菌を培養しても菌の
発育がなければ
無菌の証明と
なります。

いつでも使用できる ように保管しています

- ・手術器材用自動立体倉庫に
手術用コンテナを約400個
保管しています。



- ・滅菌バッグに入った
器材はフィルター付き
無菌庫に保管して
います。



滅菌物品管理システムを導入し 一連の流れを管理しています



器材の滅菌管理(いつどの滅菌装置で滅菌したか)、
使用履歴管理(いつ使用したか、手術器材は誰に使用したか)、
有効期限管理(滅菌物がいつまで使用できるか)、
所在管理(器材が今どこにあるか)なども確認できます。

『医療現場における
滅菌保証のガイドライン』
に沿って、器材を管理
しています！

高い品質の器材を安定して提供し、
患者さんを感染から
守っています！



見えないところで
緑の下の力持ちとして頑張ってます！！